

令和7年度「生協ふれあいの森植樹祭」について

6月8日(日)、十和田市谷地国有林に設定されている「ふれあいの森」※において「生協ふれあいの森植樹祭」が、青森県生活協同組合連合会の主催により開催されました。

当日は生協関連の職員と弘前大学の学生など約 60 名が参加しました。

参加者は数名のグループに分かれ、当署職員による植樹指導につづいて、ミズナラ・コナラの苗 120 本を植樹しました。また、過去に植樹した苗木の成長を促すため、苗木のまわりの刈り払いもあわせて行いました。鍬を使った慣れない作業や笹等の根の切断に苦勞する参加者もありましたが、経験者が初めての参加者を手伝うなど協力して一本一本丁寧に植樹し、初夏のさわやかな空気の中で気持ちよく汗を流していました。

つづいて、ネイチャーゲームのひとつ、フィールドビンゴを通して自然観察を行いました。

新緑のまぶしいブナの森で参加者は配布されたビンゴカードの内容に合う木の葉やキノコ、セミの抜け殻などを探しながら、興味がわいたものについて友人と語り合うなど思い思いに自然とのふれあいを楽しんでいました。

今年は、去年の秋にブナの実が豊作だったため地面にはたくさんのブナの芽生えが見られ、昨年とはまた違った自然の様子を観察できました。

※ふれあいの森：自主的な植栽、保育、森林保護等の森林整備及びこれらの活動と一体となって実施する森林・林業に関する理解の増進に資する活動の場を提供する制度。



〔植樹風景〕



〔植樹指導〕



〔ビンゴゲーム〕

担当：業務グループ ふれあい担当